



持続的な成長ということ

取締役常務執行役員
永野 和彦

山陽特殊製鋼技報第25巻発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は今年創立85周年を迎えます。その間、幾多の困難を乗り越え、再上場を果たして40年余りとなりました。絶え間のない製造技術の向上に注力できたことは、長きにわたる皆様のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

当社は、創立後間もなく軸受鋼の製造を始めて80年、日々技術の研鑽を続け、超高清浄度の軸受鋼は世界でもトップレベルの評価を得ております。2016年には鋼中の非金属介在物の極小化を維持しながら生産性を高めるプロセスの開発が評価され、伝統と権威ある第63回大河内記念生産賞を受賞したことは、まさに『高信頼性鋼の山陽』ブランドの顕著な現われであり、誇りであります。

2018年度は、2017年度～2019年度を実行期間とする第10次中期経営計画の折返し年度に当たります。汎用鋼を中心に海外需要家の現地調達化は今後さらに進展し、グローバルな競争には拍車がかかるものと予想されます。

第10次中期経営計画は、事業基盤の強化を通じて盤石な企業体質を確立するとともに、研究開発、品質競争力の強化による技術先進性をさらに追求し、『高信頼性鋼の山陽』のグローバルブランド化をさらに推進することを基本方針に掲げ、諸課題へ全力で取り組んでおります。

鋼材事業においては、生産ラインの整流化を図ることで、将来長きにわたって礎となる生産構造の構築に取り組んでおり、素形材事業の世界6極体制の立ち上げ、粉末事業の高品質・高機能金属粉末の生産体制の整備など、目まぐるしく変化する市場動向を的確に捕捉し、皆様のニーズにお応えできる商品開発と新市場の創生に注力しております。

自動車業界は歴史的転換点を迎えています。このパラダイムチェンジを特殊鋼のニーズの開拓と捕捉のチャンスとして、商品開発へ結びつけ、需要家の皆様の価値を生み出すことで、事業の持続的な成長へ繋げてまいり所存です。

今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。